

談話室/事務局からのお知らせ

た。アマチュア無線の免許を取り、JP2DCG のコールサインももらった。

バイクの敵は雨である。先述の仙台での年会の帰路、箱根路にかかる頃からうっすらみぞれになって来た。雪になったら大変だ。足柄 SA でガソリンを入れてもらう時間がやけに長く感じた。さいわい交通量が多く、路面に雪はなかったが、ヘルメットのフェースカバーがみぞれで低温になり、内部に自分の息が結露して凍ってしまう。仕方がないので 45 度ぐらいに持ち上げて何とかごまかしたが、今度は排気ガスの NO_x がしぶきに溶けて硝酸化するのか、目が渋いような痛さに見舞われ往生した。沼津まで降りたらみぞれはやんでまずはほっと一息ついた。翌日のニュースで東京地方は季節外れの大雪で、陸上交通は完全麻痺状態であった。帰宅して飲んだ

熱燗は言いようの無いうまさだったが、まぶたは腫れて結膜炎になってしまった。ディーゼルエンジン排気ガスの浄化技術の緊急性を痛切に感じ、以来この方面の研究にも力を注いでいる。

わたしは今 55 歳である。この職業を退いたらまずバイクで日本一周をやり、引き続き世界の国々を走る計画である。そのときバイクをヨットに積んで自分で運び、合わせて海路でも世界一周をしたい。そのために昨年 1 級小型船舶操縦士の免許も取った。バイクもヨットも本来自然の中に住んでいる人間が、いかに巧みに自然に順応して目的を達成させるかを試すすばらしい乗り物である。わたしはそれらに魅せられ、夢の止むところを知らない。

研究問題懇談会開催案内

大学と企業の若手研究者・技術者を対象とし、下記話題について自由に討論する標記懇談会を次の要領で開催いたします。

この会は誰でも自由に参加できますので、お誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。

1. 主催 日本鉄鋼協会 研究委員会

2. 製錬グループ (第 28 回)

- (1) 日時 平成 4 年 10 月 5 日 (月) 18:00~20:00
- (2) 会場 富山県民会館 8 階キャッスル (JR 富山駅から歩いて約 10 分)
〒930 富山市新総曲 4-18 TEL 0764-32-3111
- (3) 話題 「私の研究手法」
- (4) 話題提供者 千葉工業大学金属工学科 教授 大野篤美
- (5) グループ責任者 京都大学工学部冶金学科 助教授 岩瀬正則
東北大学工学部金属工学科 助教授 日野光元
- (6) 会費 6,000 円 (消費税込み、当日会場にてお支払い下さい。)
- (7) 宿泊 各自ご手配下さい。

3. 材料グループ (第 26 回)

- (1) 日時 平成 4 年 10 月 5 日 (月) 18:00~20:00
- (2) 会場 富山県民会館 8 階キャッスル (JR 富山駅から歩いて約 10 分)
〒930 富山市新総曲 4-18 TEL 0764-32-3111
- (3) 話題 「高強度鋼線に生きる高周波熱処理技術」
- (4) 話題提供者 高周波熱錬(株) 技術本部技術部 次長 川寄一博
- (5) グループ責任者 九州大学工学部材料工学科 助教授 高木節雄
- (6) 会費 6,000 円 (消費税込み、当日会場にてお支払い下さい。)
- (7) 宿泊 各自ご手配下さい。

4. 参加申込 平成 4 年 9 月 17 日 (木) までにハガキでお申し込み下さい。

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 (社)日本鉄鋼協会 技術室 名雪または神谷
TEL 03-3279-6021 FAX 03-3245-1355